

J T U 埼玉高教組 ニュース

発行 埼玉高等学校教職員組合

〒330-0062

さいたま市浦和区仲町3-13-10

ヤギシタビル4F



NO. 679

教育復興に向けて支援の輪を広げよう！

TEL 048-823-4071

FAX 048-823-4072

Eメール saikojtu@maple.ocn.ne.jp

公立学校の共学化は、待ったなし

★二度目の共学化勧告

2023年8月30日、埼玉県男女共同参画苦情処理委員会は、「埼玉県立の男子高校が女子であることを理由に入学を拒んでいる」という苦情申出に対し、「女子の入学は当然認めるべき」「女子差別撤廃条約に違反している事態は是正されるべき」として、県教委に対し別学校の共学化を勧告した。2002年に続き二度目である。別学は条約違反とは云えないにしても、「男女共学」教育が推奨され、男女の役割の定型化された概念の撤廃が求められているとした。

★他県の状況

宮城県は2001年3月に全ての県立高校の男女共学化を決定、同様に福島県は、2003年をめぐり、全ての県立高等学校を逐次、男女共学にする「第2期高校教育改革推進計画」が策定・実行された。

埼玉以上に男女別学校が残る群馬県も、2020年3月、「今後の県立高校の在り方について-第2期高校教育改革推進計画の策定に向けて-」（報告）の中で「男女別学校については、今後の高校教育改革の中で、社会の変化や県民のニーズ等を踏まえ、地域や関係者の理解と協力を得ながら、共学化を推進していくことが望ましい。」としている。

紹介した各県は、共学化の狙いとして、「男女が共に学ぶことの意義や、性差による制限のない学校選択の保障という観点」を挙げている。別学校の問題として、本来学校が求めるべき能力以前に「性差」によって門戸を閉ざしている点を指摘している。公立高校にとって、最も避けるべき不条理を強要している別学校は、存在として有り得ないものであり、「性差」に関係なく、誰も学校選択が出来るのが最低限の条件整備である、と厳しく指弾している。

★高校生の発言をどうとらえるか

県教委は2002年の共学化勧告では、別学校の強い反対を受けて各学校任せとした。再編計画等では「将来的には共学化を目指す」との文言を残したが、この20年のあいだ、何もしていない。

そして今回の勧告を受けて県教委は各別学校に赴き、意向を聞いている。別学校に話を聞いて、別学賛成の意見を聞いて帰る。「貴重なご意見を重く受け止めて・・・」。バカな！！

生徒・保護者、同窓会の別学維持の理屈も無茶苦茶である。「学校の外の男女差別が校内に影響しないように・・・」。学校は聖域か。卒業後は放置か。浦和高校での意見交換会、別学維持賛成86%だが、同窓会への説明会の場では、少数の共学化意見に対して「帰れよ、うるせえな！」のヤジが飛んだ(2月4日付東京新聞)。このような発言を出させてしまったのは、ほかでもない県教委の責任である。

県教委は「別学は多様性ではない」というが、別学は「県立学校の特色」として主張されている。成績上位者が県立高校に進学するとなれば、別学校しかなかったのである。それだけの話だろう。入った学校を悪く言われたら誰だって不愉快なのは当然だ。

★別学校を共学化でさらに伸ばせ

別学校各校において、それぞれの伝統のもとで特色ある教育実践が行われている。異性が入るとそれが損なわれる、と決めつけてはいけない。共学化でさらに発展する、発展させるべきなのだ。

勧告に回答するのは県教委である。そして県教委の方針は共学化なのである。別学校に対して共学化を促し、男女共同参画の実現に踏み出すべきである。いまは21世紀、県教委の主体性を示せ。

2024 第10回憲法大集会

～3万2千人が有明の地に集結！～

5月3日、今年も有明防災公園で上記集会が行われた。既に11時からミニステージではイベントが始まっている。Aステージは沖縄やパレスチナ問題などを自由に話すトークイベント、BステージはDVやモラハラかも？の疑問に答える「あなたのモヤモヤお答えします」。Cステージは子ども向けの「子ども憲法ひろば」、今年は凧作りと凧揚げ。Dステージは三青反戦アクション、大熊家、唯一無二ゆ、ユキヒロが登場するライブステージと多種多様な催しが開催されている。

12時半を回る頃、小田川義和氏の開会挨拶のあと、スピーチが始まった。一番手は弁護士で伊藤塾塾長でもある伊藤真氏。安倍政権から今に続く、憲法がないがしろにされている状況を危険であると改めて認識させてくれた。

二番手は同じく弁護士で新外交イニシアティブ(NID)代表の猿田佐世氏。「宿題」と称して、来年の集会には20、30代の若者を連れてきてくださいとお願いが。確かに若者より高齢者が多いのは事実。しかし、今年は昨年よりも若者は多く、特に乳幼児を

連れた家族連れが多かったように思う。子ども向けのイベントも行われているので家族ぐるみで参加しようという人が増えているのではないかな。

立憲民主、共産、れいわ、社民、沖縄の風(メッセージのみ)といった各党・会派の議員挨拶のあとはリレートークだったが、5人の方が登壇。地震と原発:武藤類子氏、外国人の人権問題:山岸素子氏、沖縄課題:高里鈴代氏、核兵器課題:大内由紀子氏、パレスチナ問題:猫塚義夫氏、それぞれ現状と取り組むべき課題などが熱く語られた。

ユキヒロと合唱隊によるエンディングが終了し、3時頃、パレードへと出発、無事に集会は終了した。

「宿題」ではないが、来年は参加したことのない人に声をかけていきたい。こうした運動

が無くなった世の中を想像すると…
(H.R)



くじら会議&映画上映

日時:6月8日(土)

★くじら会議:1時～

★映画上映:3時～

場所:武蔵浦和コミュニティセンター第10集会室

映画『ガザ 素顔の日常』

(2019年 監督:ガリー・キーン アンドリュー・マコーネル)

第3回くじら採用試験対策講座 無料!

5/25(土) 1:30～5:00 武蔵浦和コミセン第10集会室

埼玉高教組 TEL: 048-823-4071 mail: saikoitu@maple.ocn.ne.jp